新冠町リモートワーク・ワーケーション実証試験事業

Meeting to exchange opinions

齋藤 尚子 さん（大阪府在住）

【フジゲン make a good】
フリーランスのWebディレクターとして活動。
ユーザーニーズに沿ったWebサイトの企画から設計、進行などの行程管理を担う。パソコン一つでどこでも仕事ができるという就業形態を活かして全国各地でワーケーションをしながら、地域の方との交流やその地域ならではの体験を行なっている。

Q 『ワーケーション』や『サテライトオフィス』に関する周囲の反応・周囲の声は？

A 普及にはまだ多くの課題がある。その土地で仕事がしたいと思える魅力づくりが大切。

コロナ禍でリモートワーク等の就業形態が加速しましたが、その中でも出社が必要な日があったり、セキュリティの面でインターネット回線の指定があるなどの制約も多く、100%ワーケーションが行ないやすいという世の中には至っていない印象です。

また、サテライトオフィスについては、実際にオフィスの管理人をしている知人から聞いた話ですが、企業がオフィスに入居していても、実際には常駐していない例も聞くのでオールシーズンで有効に活用するには、まだまだ課題があると感じています。

今後、こういった取組みが定着していくためには、やはり衣食住の環境を整えることが大切です。

しかし、これは訪れる人の工夫次第で賄える部分でもあるため、大規模な整備を行なうよりも、今ある資源を活かしつつ、試行錯誤を楽しめる環境をつくっていくことが大事だと思います。

私は地方に行くとき、「その地域だからこそ体験できるものがあるのか。」を重視して選んでいます。

私のような就労形態の方々が、仕事をしながら『新冠』という場所で過ごし、魅力を知る機会が増えて欲しいですし、長期で何度でも滞在したい場所になることが、とても重要であると感じています。

Q ワーケーションの滞在地に求められることは？

A 仕事の拠点として考えると見えてくる課題がある。長期滞在を見据えた整備を。

私の場合、フリーランスといえども平日は仕事の打合せや作業をすることが多いため基本的に移動できるのは週末となります。

また、移動先も一週間単位の長期期間になることが多いので、長期滞在者向けのワーケーションプランが充実すると嬉しいですね。ここでは、それを前提にした意見になるのですが、ハード面で言えば施設内に『コインランドリー』があるとすごくありがたいです。洗濯ができると、持っていく荷物が減らせるのでポイントが高いんです。

その他、体を動かすスペースがあると尚良しです。

ホテルヒルズのすぐ近くにホロシリ乗馬クラブがありますが、乗馬ってすごく体幹が鍛えられるため、ここならでは運動方法として全面に売り出していって欲しいです。関西では乗馬体験の値段が高いため敷居が高い印象です。馬産地ならではの価格帯で回数券やパスポートのようなものをつけた『エクササイズプラン』があれば、私は毎日行くと思います(笑)

最後に宿泊プランの話をすると、今回は朝食付きプランで、毎朝美味い朝食をビュッフェ形式で楽しませてもらいましたが、ワーケーション向けのプランとして考えるのであれば、事前に予約すればお弁当を用意してもらえたり、おにぎり等の軽食を部屋に持ち帰る事が出来るサービスがあると、更に使いやすいと感じます。

そうなれば、朝食時に急なWeb会議が入るなど、部屋に戻らないといけなくなっても、滞在地の美味しいものを堪能することができ、満足度が更に向上しますね。

↑齋藤さんの滞在中は快晴が続き、今回の意見交換会は新冠温泉ホテルヒルズにあるテラス席にて開催された。
ホテルヒルズでは、Wi-fi環境の整った客室の他、天井の抜けた開放的なロッジ風のロビー、食事と休憩スペースが併設された茶屋ゆうぐれ、太平洋を望むテラス席等、気分転換をしながら仕事と休暇を楽しめる環境を整えている。

Q 滞在してみて感じる新冠町の強みは何ですか？

A 土地と風土を活かせば、閑散期にも人を呼び込むポテンシャルがある。

ワーケーションは、いかにして閑散期の町に人を呼び込むかという戦略に適していると思います。

実際に新冠に訪れてみて、比較的平坦で真っ直ぐな道が多いと感じたので、例えばランナーやサイクリストなどにとって魅力ある環境だと思いました。北海道は自然が豊かというイメージを全国の方が持たれていますですが、なかでも新冠町は雄大な日高山脈を背景に、きれいに環境整備された牧場があって、そこに馬がいる。自然豊かといっても鬱蒼とした感じが全くないので、牧場の理解は必要ですが、ランニングやサイクリングイベントの企画等によって、全国的に注目される町になると思います。

その他、新冠町は積雪が少ないと伺いました。『冬の北海道＝雪』というイメージが強く、降雪による移動制限は、仕事の拠点としてのネックとなるため、冬季でも積雪による影響が少なく移動がしやすいこともワーケーションに適していると アピールできることは、道内でも突出した強みかもしれませんね。

最後に少し違う視点からの話になりますが、新冠には6次化として既にピーマンの粉末を利用しているとの事でしたので、粉末ならではの活用も面白さがあると思っています。自然由来の緑色の着色料で、代表的なものが抹茶なのですが、光が当たると変色や、色が抜けてしまう特徴があります。

もし、同じ緑色に、ピーマンを使うことができれば、とても珍しいですし それが様々な分野に活用できると、更なる付加価値が付くと思います。

↑ホロシリ乗馬クラブでは、エサやり体験もでき、気軽に馬と触れ合うことが可能。

齋藤 尚子 さん
【フジゲンmake a good】
✉ saito@fuzigen.com

Q ワーケーション事業として「あったらいいな」と思うプログラム等はありますか？

A 地域の声を聞く機会があれば、双方にとって次につながるワーケーションとなる。

地域に長期滞在する中で、その土地の人と仲良くなり、町を深く知ることは、その後の関係人口として町に関わるきっかけになっていくと思います。普通に仕事をしているだけでは、なかなかそういう機会がないので、繋がりが生まれる仕掛けがあると、『敢えて新冠を訪れて滞在する。』という理由の一つになるはずです。残念ながら今回の滞在中は地域の方の話を聞く機会や、人が集まる場所に行く事は叶いませんでしたが、今後、ワーケーションに訪れた人に、観光という視点だけではなく、「リアルな新冠を知る、住民の話を聞く」というメニューを提供できれば、双方にとってより有意義な時間になりますし、町への関わり方が明確となり、単発で終わることのないワーケーションとして、さらに本格化していくと信じています。

↓→「その土地だからこそできる経験をしたいんです。」と話す齋藤さん。
新冠町滞在中は、ホロシリ乗馬クラブでの乗馬体験の他、ホテルヒルズで夏季期間に提供している海と夕陽が見えるテラスでの日高の食材を使ったＢＢＱ等、仕事をしながら新冠の魅力を余すところなく楽しんでいただけたようだ。

編集後記

各地でワーケーションに参加しているという齊藤さん。他の自治体の取組みの内容や、その土地でつながった人たちとの話など、職員にとっても大変興味深い意見交換会となりました。

また、ワーケーターが求めている環境についても、経験者・当事者として、忌憚のない意見をいただきありがとうございました。

今後とも様々な事例やアイデアを共有していけると幸いです。